

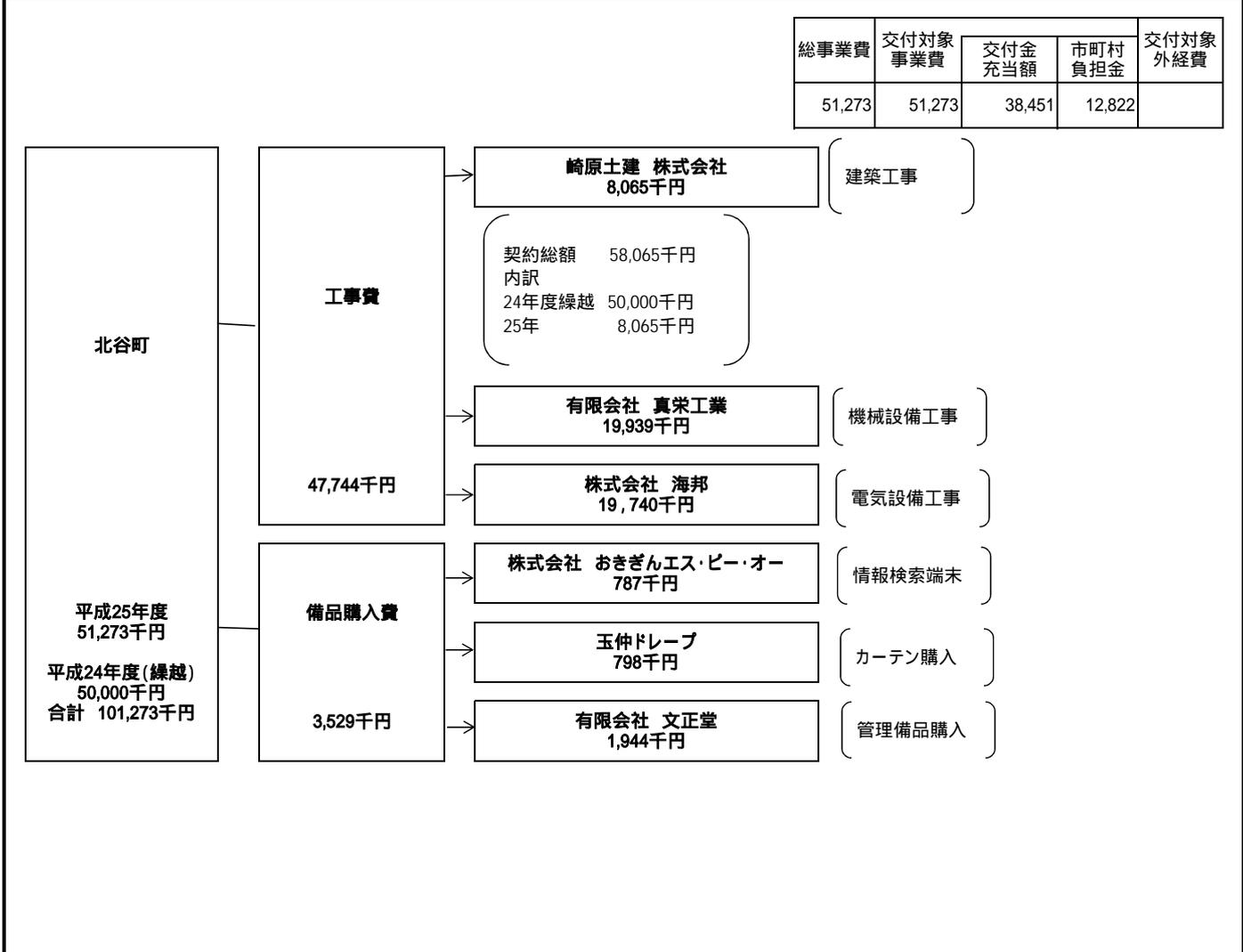
市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	北谷町観光情報センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設経済部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	観光客に観光情報を発信するとともに、物産振興と文化振興の推進、地域安全と環境浄化活動の拠点にもなりうる観光振興の拠点とするため、観光情報センターを整備した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	50,000		30,240		
		(b)予算現額	50,000		52,223		
		(c)増減額(b-a)	0	0	21,983		
		(d)繰越額	-	50,000	0		
		A.計(b+d)	50,000	50,000	52,223		
	B.執行済額		0	50,000	51,273		
	うち交付金充当額		0	40,000	38,451		
	次年度繰越額		50,000				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	98.2%		
予算の状況の説明		当初想定よりも延べ床面積が増加したことによる工数の増加に伴う設計額の変更のため、平成24年からの繰越し予算とあわせて適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・北谷町観光情報センター新築工事 建築工事・電気設備工事・機械設備工事	目標	(基本設計、実施設計、建築工事)	(建築工事 電気設備工事 機械設備工事)	( )	( )	
		実績	基本設計、実施設計、建築工事	建築工事 電気設備工事 機械設備工事			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	目標どおり観光情報センターを設置することができ、本町を訪れる観光客に効果的な観光案内等を行えるようになった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・北谷町観光情報センター新築工事の完了RC2階建て	目標	( )	(基本設計及び実施設計)	(建築工事の完了)	( )	( )
		実績		基本設計及び実施設計	建築工事の完了		
	[参考指標]		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	目標どおり観光情報センターを設置できた。観光情報センターの設置及び窓口業務の開始により、効率的な観光案内が可能となった。今後海外からの観光客に対応するため、多言語化への取り組みを推進し、本町の観光拠点として機能充実を図っていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>当施設を本町の観光振興の拠点とするための効率的な管理運営方法が確立されていない。</li> <li>外国人観光客への多言語対応ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当施設を効率的に運営及び活用するため、本町観光協会及び町内観光関連事業者と連携を密にすることにより、民間事業者等のアイデアの導入を検討する。</li> <li>観光情報センターに配置される人員等への多言語講習及び、多言語に対応した宣伝媒体等を充実させる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・北谷町観光協会を指定管理者に指定することにより、観光協会の会員間における相互協力の下、本町の観光拠点拠点として、効率的かつ効果的な観光案内及び観光情報の発信を行う。  
 ・観光情報センター窓口職員等への多言語講習の実施とともに多言語に対応できる人材の確保及び、タブレット端末の活用や多言語パンフレットの充実を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○各工事請負費については、指名競争入札により適切に契約執行されており妥当であったと考える。 ○備品購入費については、一部(情報検索端末及びカーテン)について地方自治法施行令167条の2第1項第1号の規定に基づく随意契約、管理備品については、指名競争入札により訂正に契約執行されているため妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 北谷町文化発信拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	教育委員会社会教育課		事業実施(予定)年度	平成24～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立
事業内容		<p>沖縄文化に触れられる観光を提供し、観光振興に寄与することを目的として、約6,500年前からの集落跡として極めて重要とされ、国の史跡に指定された「伊礼原遺跡」を観光資源として活用するために縄文時代の生活空間の具現化をテーマとした伊礼原遺跡を復元整備し、出土品等を展示する博物館を建設する。</p> <p>H24年度事業費では全ての建設予定地の用地購入が出来なかったため、H25年度予算も含めて執行する。</p>					
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度		24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	0	0	145,552		
	(b)予算現額	418,680	418,680	48,753			
	(c)増減額(b-a)	418,680	418,680	96,799			
	(d)繰越額	0	0				
	A.計(b+d)	418,680	418,680	48,753			
	B.執行済額	0	418,680	42,088			
	うち交付金充当額	0	334,944	33,670			
	次年度繰越額	418,680	0	0			
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	86.3%			
予算の状況の説明		当初国有地については、時価での購入が予定されていたが国との交渉の結果、当該土地が在日米軍用地であることから国の返還財産の処分条件に合致することとなり、減額の対象となったため当初計画額から大幅に低い事業費で適正に執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	対象土地面積6,078.98㎡の全てを取得(内訳) 国有地3,775.56㎡ 県有地707.42㎡ 保留地1,596.00㎡(H24:1,226.34㎡、H25:369.66㎡)		目標 ( 6,078.98㎡ )	( 369.66㎡ )	( )	( )	
			実績 5,709.32㎡	369.66㎡			
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明		平成24年度繰越予算及び平成25年度予算措置により、予定していた用地購入が円滑に執行できたため、今後の展開方針として予定していた博物館建設に向けた基礎調査検討業務、及び博物館に隣接して整備予定の伊礼原遺跡整備基本計画策定業務を実施することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	土地取得率100%		目標 ( )	( 100% )	( 100% )	( )	( )
			実績	93.92%	100%		
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明		平成24年度及び平成25年度において博物館建設に必要な用地すべてを取得することができた。また、博物館建設に向けた基礎調査検討業務及び博物館に隣接して整備予定の伊礼原遺跡整備基本計画策定業務を実施した。今後は、博物館建設に向けて基本設計、実施設計を行っていく。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	H10年度の公立博物館整備国庫補助金の廃止に伴い、新制度の下での施設規模や形態など比較対象となる事例が少なく、関係機関に対し、事業の取り組みへの理解を図ることが容易ではなかった。	内部関係部署との連携強化を図り組織としての方向性を明確にすることにより、関係機関への事業説明をスムーズにし事業推進のスピードアップへつなげる。

**今後の取り組み方針**

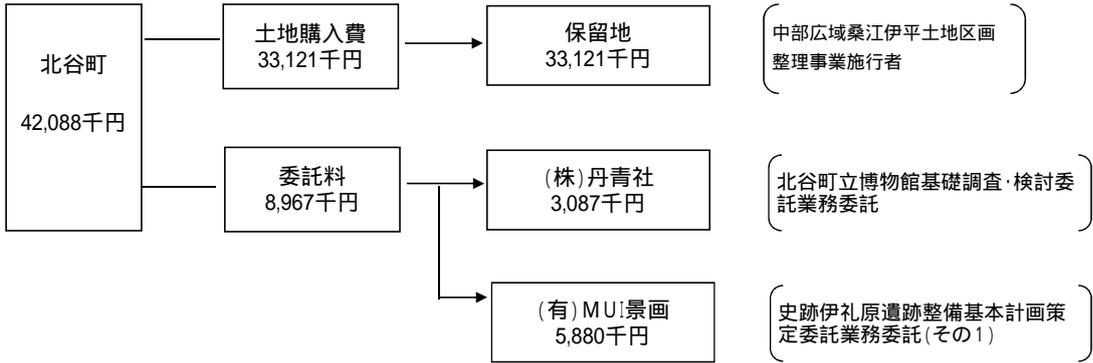
平成26年度以降は、内部関係部署及び関係機関とのスムーズな連絡調整を心掛け以下の事業を実施する。

・博物館整備事業 H25 基礎調査 H26 基本計画 H27 基本設計 H28 実施設計 H29 造成工事・建設工事 H30 周辺整備工事・開館準備 H31 開館

・伊礼原遺跡整備事業 H25・26 基本計画 H27 基本設計 (H28以降は文化庁補助 H28 実施設計 H29 造成工事 H30 建設工事 H31 公開)

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
42,088	42,088	33,670	8,418	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業は企業組織、実績、知識等を助案した上で選定した事業者による指名競争入札により執行しており、妥当であったと考えている。 費目・使途について、土地購入費は、国家資格を持つ鑑定評価に基づく用地購入費であり、委託事業の成果品は、仕様書に即したものであった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

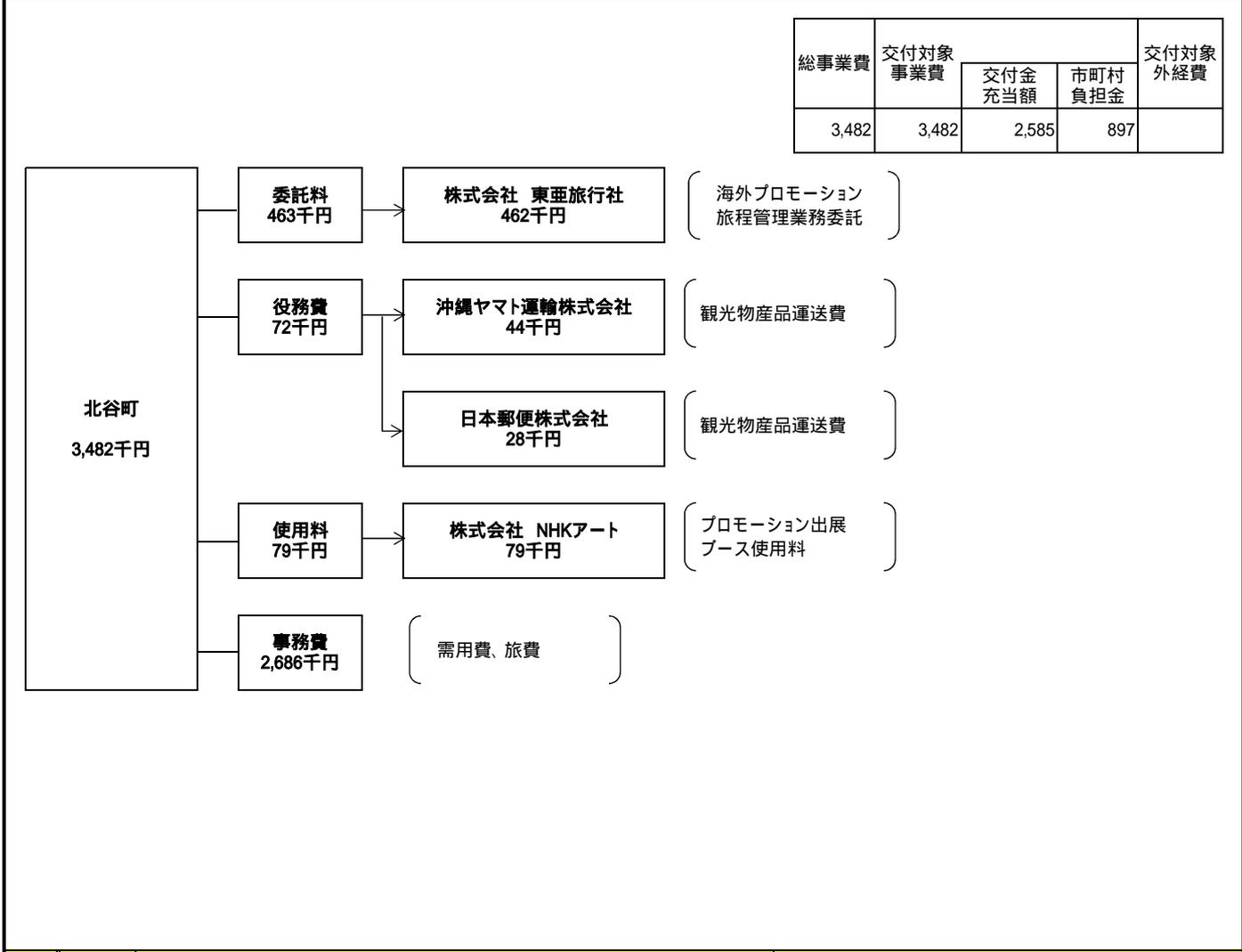
市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	北谷町観光物産プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,678	6,116			
		(b)予算現額	6,678	6,116			
		(c)増減額(b-a)	2,000	0			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	6,678	6,116			
	B.執行済額		5,131	3,482			
	うち交付金充当額		4,104	2,585			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		76.8%	56.9%			
予算の状況の説明		年度当初に実施したプロモーション事業については、交付決定前に実施する必要があったため対象事業費の執行済額から控除した結果、執行率が低くなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	北谷町観光物産プロモーション 国内2回 海外2回	目標	( 2回 )	( 国内2回 海外2回 )	( )	( )	
		実績	2回	国内2回 海外1回			
			目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	国内プロモーションでは、東京プロモーション事業として、全国町村会主催「町イチ！村イチ！2014」に出展参加した。国外プロモーションでは、台湾プロモーション事業として、中華民国(台湾)台中市で開催された「2013 台中国際旅行展覧会(TITF2013)」に、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローと連携し、沖縄県ブースとして出展参加した。この他、海外プロモーションについては、あと1回沖縄観光コンベンションビューローとの合同実施を予定していたが日程等の折り合いがつかずプロモーション回数を1回減としたため実績が目標を下回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	東京プロモーション 啓発配布 500個及び物販活動	目標	( )	( 試供品の配布 1,000個 )	( 試供品の配布 500個 )	( )	( )
		実績		試供品の配布 1,000個	試供品の配布 500個 物販活動		
	台湾プロモーション 啓発配布 500個及び表敬訪問	目標	( )	( 試供品の配布 400個 )	( 試供品の配布 500個 )	( )	( )
		実績		試供品の配布 400個	試供品の配布 300個 表敬訪問		
	進捗状況説明	海外プロモーションについて沖縄観光コンベンションビューローとの合同実施を予定していたが日程等の折り合いがつかずプロモーション回数を1回減としたため、町産品の試供品配布個数が目標に達しなかった。今後も国内はもちろん海外ではアジア圏を中心に、沖縄観光コンベンションビューロー等と連携し、効率的なプロモーション活動を実施することにより、本町の知名度を向上させる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町自体の知名度向上だけでなく特産品の知名度向上を同時に推進する必要がある。</li> <li>・海外においては、本町プロモーション活動の実績がまだ少なく知名度も低いと考えられるため今後も継続的に知名度向上への取り組みが必要である。</li> <li>・アジア圏を中心とした観光客の誘客を図るため、多言語の宣伝媒体等を充実させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内プロモーションにおいて、本町の魅力発信の一つである地域特産物の知名度の向上を図り、観光客誘客を推進する。</li> <li>・国際的な旅行博覧会に出展参加し、沖縄県と連携して、本町の観光啓発活動を実施する。</li> <li>・観光啓発配布について、観光客誘致を意識した多言語観光パンフレットや町の特産物を用いたノベルティの選定を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

国内外における観光物産プロモーションを継続的に実施し、本町の知名度の向上と観光客誘客推進を図るとともに、観光情報発信の戦略的広報の推進とMICEの誘致等、付加価値の高い旅行の促進に取り組む。  
更に幅広い層の誘客を図るため、温暖な気候を利用したスポーツツーリズムの提案等に取り組んでいきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



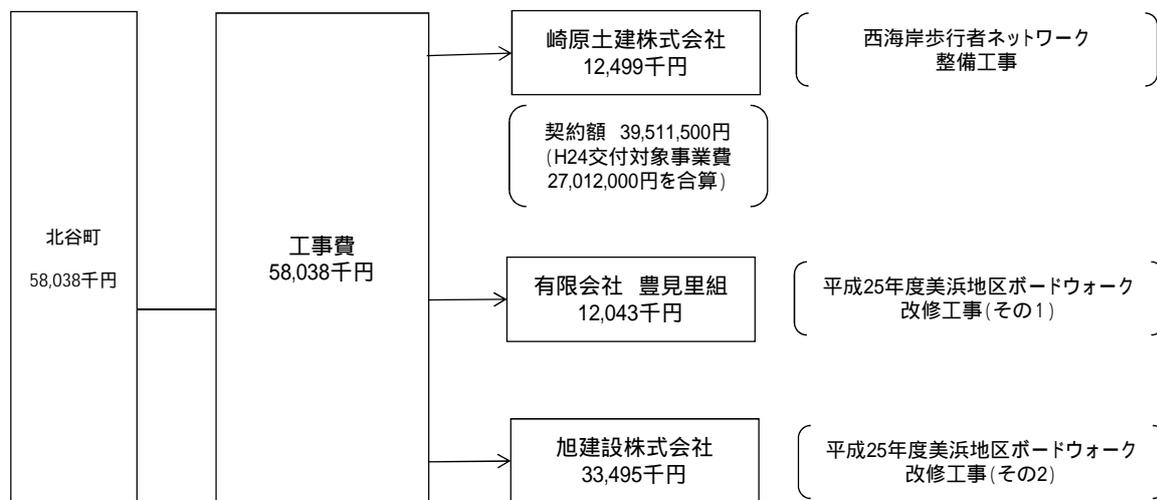
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各契約については、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号に基づく随意契約であり、妥当であったと考える。</li> <li>○費目・使途については事業の目的を達成するためには最小限の必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 西海岸歩行者ネットワーク整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	建設経済部 都市建設課		事業実施(予定)年度	平成24年度～平成26年度	観光客の受入体制の整備	
				沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)		
事業内容	夕日や砂浜を見ながら海辺の散策ができる憩いの空間を創設し観光地として魅力の増強を図るため、安良波公園からフィッシャリーナ地区までの地域を一体的に利用できるように遊歩道を整備する。H24年度は擁壁工事、造成工事等を実施しており、H25年度では舗装工事、植栽工事、照明設置工事等を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	90,789	31,500			
		(b)予算現額	90,789	61,523			
		(c)増減額(b-a)	0	30,023			
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	90,789	61,523			
	B.執行済額		90,789	58,037			
	うち交付金充当額		72,631	46,429			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.3%			
予算の状況の説明		当初美浜2号線歩道整備のみを予定していたが、観光地としての魅力増強を効果的に行うため、美浜地区シンボルロード改築工事についても追加申請したため予算が大幅に増となったが適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度		25年度		
	美浜2号線歩道整備 ・コンクリート舗装工 A=1,112㎡ ・排水工 L=223.5㎡ ・樹木植栽工 30箇所 ・照明工 20基	目標	( 盛土工V=6,500m3、L型擁壁L=52m、逆T型擁壁L=6m、植生擁壁L=74.5m、傾斜路工1箇所、階段工2箇所、防護柵工L=214.7m )		( コンクリート舗装工A=1,112㎡、排水工L=223.5m、樹木植栽工30箇所、照明工20基 )		
		実績	( 盛土工V=6,500m3、L型擁壁L=52m、逆T型擁壁L=6m、植生擁壁L=74.5m、傾斜路工1箇所、階段工2箇所、防護柵工L=214.7m )		( コンクリート舗装工A=1,332.7㎡、排水工L=220.7m、樹木植栽工37箇所、照明工21基 )		
	美浜地区シンボルロード改築工事 ・コンクリート型押し舗装工A=1,539㎡	目標	( )		( 遊歩道整備A=1,539㎡ )		
		実績	( )		( 遊歩道整備A=1,539㎡ )		
達成状況説明	・美浜2号線歩道整備工事に関しては、事業執行効率化の観点から平成24年度繰越事業費と合算して工事発注した結果、現場での調整により、当初予定されていた面積以上の舗装を行うことができ、樹木植栽、照明についても、当初予定していた数量以上の配置を行った。 ・美浜地区シンボルロード改築工事に関しては当初の予定通りに施工ができた。 ・美浜2号線歩道整備工事については、全体計画の約70%の整備が完了したが本町の観光振興に資する景観整備が進んでいる。引き続き完了に向けて取り組む。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	目標値(年度)	
	H25美浜2号線歩道整備 ・遊歩道整備完了222.4m ・全体計画のうち72.3%が完了	目標	( )	( 遊歩道整備 214.7m )	( 遊歩道整備 222.4m 全体計画の72.3%完了 )	( )	
		実績		遊歩道整備 214.7m	遊歩道整備 222.4m 全体計画の72.3%完了		
	H25美浜地区シンボルロード改築工事 ・遊歩道整備完了210m	目標	( )	( - )	( 遊歩道整備完了 210m )	( )	
		実績		-	遊歩道整備完了 210m		
	進捗状況説明	・美浜2号線歩道整備工事に関しては、事業執行効率化の観点から平成24年度繰越事業費と合算して工事発注した結果、現場での調整により、当初予定されていた面積以上の舗装を行うことができた。樹木植栽、照明についても、現場での調整により当初予定していた数量以上の配置を行った。美浜地区シンボルロード改築工事に関しては当初の予定通りに施工ができた。 ・全体計画のうち約70%の整備が完了した。今後は、未施工となっている部分の整備を行い魅力ある歩行者ネットワークを整備する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該区間は、これまで商業施設の裏側となる護岸で、普段から人通りも少なく、防犯の面からも不安視されている場所であった。整備する事により、これまでのイメージを取り払い新たな観光スポットとして活用していけるかが今後の課題である。	周辺事業者への事業説明を効果的に行うとともに、整備状況等を積極的に広報することにより、これまでのイメージを払しょくする新たな観光スポットとしてのPRに努める。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事完了区間ごとに供用開始を行い、新たな観光スポットとして積極的なPRに努めつつ、周辺事業者の意見等を参考にしながら賑わいあるまちづくりを目指す。</li> <li>・全体事業完了後に本町の観光パンフレット等へ掲載するなど、観光地としてのPRを図りたい。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
58,037	58,037	46,429	11,608	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	契約締結については、全て実績等を助案の上指名された事業者による競争入札により執行されており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	建設経済部 都市建設課		事業実施（予定）年度	平成24年度～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装及び休憩舎の整備をする、H24年度からの継続事業であり、H25年度はH24年度で実施できなかった場所を整備する。					
	実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）					
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	47,500	11,750			
		(b)予算現額	20,129	13,543			
		(c)増減額(b-a)	27,371	1,793			
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	20,129	13,543			
	B.執行済額		20,129	13,125			
	うち交付金充当額		16,102	10,500			
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%	96.9%			
予算の状況の説明		平成25年度当初計画段階より施工予定面積が増となったため予算現額が増となったが、関連工事の進捗状況により目標未達の部分があったため執行額が減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	インターロッキングブロック舗装	目標	( A=1,642㎡ )	( A=710㎡ )	( )	( )	
		実績	A=1,675㎡	A=648㎡			
	休憩舎設置	目標	( 一箇所 )	( 一箇所 )	( )	( )	
		実績	一箇所	一箇所			
達成状況説明	インターロッキングブロックに関しては県が先行して整備した護岸に敷設を行うが、敷設予定していた一部の区間で県の工事が未完了だったことから敷設面積の目標未達成となった。 休憩舎に関しては当初の予定通りに設置できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	景観に優れた護岸の整備 ・インターロッキングブロック舗装：710㎡ ・休憩舎設置	目標	( )	( A=1,642㎡ 一箇所 )	( A=710㎡ )	( )	( )
		実績		A=1,675㎡ 一箇所	A=648㎡		
	全体計画のうち68%の整備完了	目標	( )	( )	( 68% )	( )	( )
		実績			68%		
	進捗状況説明	マリンスポーツ等を目的とした利用者が多数訪れより賑わいのある海岸となった。完了に向けて今後も引き続き事業を推進する。					

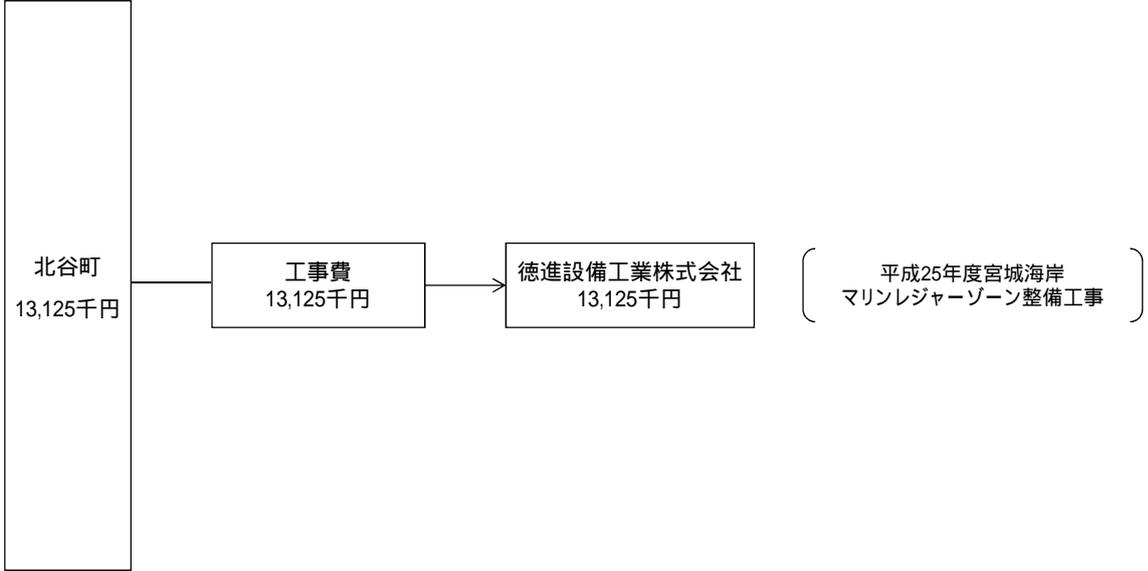
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県所管の工事の進捗の影響により一部目標未達となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県との連携を密にし執行可能な計画推進を心掛ける必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

平成24年度から継続事業で整備し、完了した区間毎に供用開始しているが、毎日多くの方が利用され以前より賑わいのある海岸となっている。また、県所管工事の進捗状況の的確な把握に努めるとともに平成27年度完了に向けて引き続き事業を進めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
13,125	13,125	10,500	2,625	



資金の 用途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	契約締結については、全て実績等を助案の上指名された事業者による競争入札により執行されており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		北谷町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	北谷公園(ビーチ等)活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設経済部 都市建設課		事業実施(予定)年度	平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-(1)
事業内容	既存のサンセットビーチの隣接地に新たな商業施設やホテルの開業、さらに大型ホテル建設がスタートするなかで、観光資源であるビーチへの歩行者導線やビーチ施設、北谷公園施設のグレードアップを図る目的で、今年度は屋外プール屋根設計を実施する。また、年次的に施設整備を行う。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,000				
		(b)予算現額	4,000				
		(c)増減額(b-a)	5,000				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	4,000				
	B.執行済額		3,654				
	うち交付金充当額		2,923				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		91.4%				
予算の状況の説明		当初計画においては、サンセットビーチ内における歩道設置を含めた基本設計を策定する予定であったが、計画見直しにより平成25年度においては、町営プール屋根設置に係る基本設計業務のみ実施したため、当初計画額より予算現額が減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	北谷町営プール屋根設置設計業務委託(北谷公園内の屋外プールの屋根設置に係る概略設計一式)	目標	(基本設計策定)	( )	( )	( )	
		実績	基本設計策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	屋外プールに関する現状の把握及び屋根の設置を含む今後の改良案のほか、再生エネルギーの導入検討などを含んだ報告書が作成された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	北谷町営プール屋根設置設計	目標	( )	(基本設計策定)	( )	( )	( )
		実績		基本設計策定			
	[参考指標]		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	屋外プール改良に向けた基本設計を行ったことにより、施設の老朽化の状況を把握し、屋外プールへの屋根設置を含む今後の改良へ向けての方向性を検討することができた。今後は、当基本設計を基に実施設計、改良工事の早期実現を図っていく。					

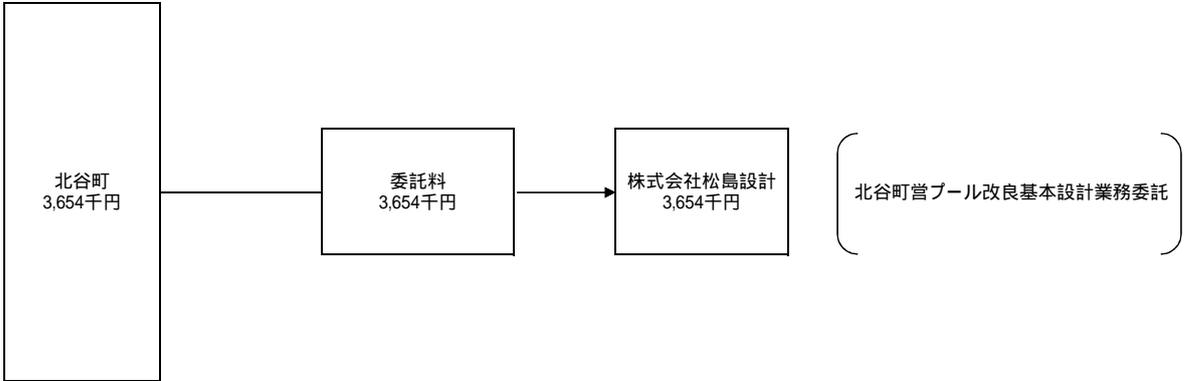
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	将来想定する利用者像により、プール計画は大きく変わるので、利用者のターゲット及びニーズをさらに検討することが必要である。	近接施設との連携も含め、利用者像を再検討することにより、プール施設の実施設計に活かすことが可能となる。

**今後の取り組み方針**

プール利用者像の再検討を行うとともに、今回実施した基本設計を基に北谷公園内の近接施設との連携を考慮した実施設計及び工事を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,654	3,654	2,923	731	



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	観光振興地域活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本町の観光拠点地域においてイルミネーション装飾による景観形成を展開し、地域活性化と着地型観光の促進を図る。またビーチ及び多目的広場等の観光拠点において、エイサーやハワイアンフラ等の地域エンターテインメント事業を披露し、一層の賑わいをもたらす新たな観光資源を創出する。パンフレット、SNSサイト等の多言語コンテンツにより、当該事業の情報発信を行い、国内外及び県内外からの誘客推進を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
		(b)予算現額	10,000				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	10,000				
	B.執行済額	9,999					
	うち交付金充当額	7,999					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	一部目標未達はあったものの、イベント開催については計画以上に開催できたので、結果として予算を適正に執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光振興地域活性化事業企画運営業務を実施	目標	( )	( )	( )	( )	
		実績	観光振興地域活性化事業企画運営業務委託				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	沖縄観光の閑散期である、11月から2月までの間、観光振興イベントを実施するエンターテインメント創出事業、イルミネーション装飾等を実施する地域景観育成事業、多言語コンテンツ等による情報発信業務を委託することで、観光閑散期における誘客推進及びイベント等を通じた本町の知名度向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	イルミネーション装飾日数 エンターテインメントイベント開催数	目標	( )	( 装飾:120日 イベント:4回 )	( )	( )	( )
		実績		装飾:120日 イベント:6回			
	多言語コンテンツ等を利用したアンケートを実施300名 多言語コンテンツ利用者数の目標指標:5000 アクセス/4か月	目標	( )	( アンケート 300件 アクセス5000 )	( )	( )	( )
		実績		アンケート256件 アクセス102,709			
	進捗状況説明	観光閑散期におけるイルミネーション装飾等の地域景観育成事業を軸とし、観光振興拠点において、エンターテインメント創出と本町の観光情報の発信を実施することができた。 アンケート数については、実施日の悪天候の影響もあり実績が目標を下回ったが、イルミネーション特設サイト等のコンテンツ利用者数については目標を上回った。 継続的な事業実施により、観光閑散期における誘客の推進及び本町の更なる知名度向上を図る。					

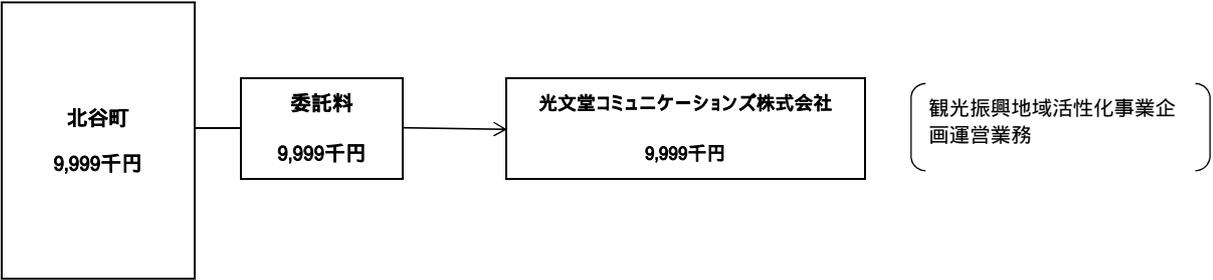
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンターテイメント創出事業は、観光振興拠点での開催であるため観光客に好評であるが、屋外での開催のため、天候に左右されやすい。</li> <li>・多言語コンテンツの拡充が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪天候時の対応については、本町の観光スポットであるアメリカンビレッジ周辺施設内での代替開催を視野に、屋内屋外両方で実施可能なイベント開催方法を検証する。</li> <li>・多言語コンテンツについては、WEB、広報誌、紙媒体、メディア等様々な媒体の活用を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

晴天時雨天時両方で可能なイベント開催方法を検討するとともに、悪天候時における代替開催施設の確保に努める。  
 また、本事業にて実施するイルミネーション装飾等について、本町一括交付金事業である北谷町観光物産プロモーション事業と連動して、本町の観光資源として多言語コンテンツの活用も検討しながら情報発信していく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費の内訳		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,999	9,999	7,999	2,000	



資金の流 れ、費 目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約締結については、指名競争入札により執行されており妥当であると判断した。 ○費目・使途については事業の目的を達成するためには必要不可欠なものであったことから、適正であったと判断した
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	海業観光資源開発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ	
担当部課名	建設経済部 経済振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)	
事業内容	水産業と観光業が融合した新たな海業観光資源の創出に向け、ジンベイザメやマンタ・ネコザメを飼育・展示し、新たな観光客層の開拓を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,845				
		(b)予算現額	14,845				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		14,845				
	B.執行済額		14,269				
	うち交付金充当額		11,415				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.1%				
予算の状況の説明		補助執行にあたっては、受益者負担分である交付対象外経費1,586千円を含め、予算を適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	北谷町漁協へ蓄養生簀(定置網)の購入費を補助	目標	( 1基分 )	( )	( )	( )	
		実績	1基分				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・北谷町漁業協同組合に対して、マンタ等蓄養生簀の購入設置にかかる補助金を交付し、当該組合による蓄養生簀の設置が完了した。マンタ等蓄養生簀の設置により、新たな海業観光資源の創出に向けてジンベイザメ及びマンタ、ネコザメ等を飼育・展示する設備が整った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	マンタ等蓄養生簀の設置	目標	( )	( 1基 )	( )	( )	( )
		実績		1基			
	[参考指標]	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・北谷町漁業協同組合に対して、マンタ等蓄養生簀の購入設置にかかる補助金を交付し、当該組合による蓄養生簀の設置が完了した。マンタ等蓄養生簀の設置により、新たな海業観光資源の創出に向けてジンベイザメ及びマンタ、ネコザメ等を飼育・展示する設備が整った。 ・今後は展示魚の安定供給に向けて北谷町漁業協同組合との連携を強化する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな海業観光資源を創出する環境が整備されたが、今回設置した蓄養生簀で飼育・展示する魚類の捕獲ができていない。</li> <li>・漁業協同組合が実施する事業であるため、PR等情報発信力に不安がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示魚の安定供給を図るため、北谷町漁業協同組合とともに周辺漁協と展示魚の捕獲に関する協力体制を築く必要がある。</li> <li>・設置された蓄養生簀を活用し、安定した観光客誘致を図るため北谷町漁業協同組合と北谷町、北谷町観光協会との連携強化を図り積極的な情報発信を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

マンタ等を飼育・展示できる蓄養生簀設置の他、安定した展示魚供給及び観光客誘致を図るために関係者らと共に協力体制を築き、水産業と観光業が融合した新たな海業観光資源の創出を目指す。  
 また、本町の新たな観光スポットとして定着させるため、効果的な情報発信の検討・実施に努める。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

**海業観光資源開発事業**

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,855	14,269	11,415	2,854	1,586

```

  graph LR
    A[北谷町  
14,269千円] --> B[補助金  
14,269千円]
    B --> C[北谷町漁業協同組合  
14,269千円]
    subgraph Note1 [ ]
    C
    end
    Note1 --- D["マンタ等蓄養生簀の購入設置に係る経費の補助"]
    subgraph Note2 [ ]
    C
    end
    Note2 --- E["(組合負担分(交付対象外経費)1,586千)"]
  
```

資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○北谷町農林水産業及び産業団体振興育成補助金交付規程に基づき適正に執行されており、受益者である北谷町漁業協同組合も1割自己負担としていることから予算執行については妥当であったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 -	英語指導助手派遣事業(小学校)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - ア
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	- 3 - (1)

事業内容	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、英語によるコミュニケーション能力の育成を目標として、学級担任と英語指導助手とのチームティーチングによる授業を行う。				
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ( )

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	6,888	6,888		
	(b)予算現額	6,450	6,888			
	(c)増減額(b-a)	438	0			
	(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)	6,450	6,888			
	B.執行済額	6,331	6,445			
	うち交付金充当額	3,306	5,156			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	98.2%	93.6%			
	予算の状況の説明	英語指導助手の報酬支払については日額による算定となっているため、勤務実績により多少の不用額が出たが、当初計画通りに事業を執行することができた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	小学校英語指導助手(AET)配置数4人:全小学校に各1人	目標	( 全小学校に各1人:4人 )	( 全小学校に各1人:4人 )	( )	( )
		実績	全小学校に各1人:4人	全小学校に各1人:4人		
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
達成状況説明	外国人を英語指導助手として委嘱し、年間210日、1日5時間、全4小学校へ派遣した。各小学校における英語教育は、各学年の年間指導計画通りに実施しており、低中高学年に分けて具体的な目標を掲げ学習に取り組んだ。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		支援生徒数: 全小学校合計 2,060人	目標	( 2,133人 )	( 2,125人 )	( 2,060人 )	( )
	実績			2,125人	2,102人		
	[参考指標]	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援生徒数は全小学校の全生徒となっており、全校生徒が英語指導助手による授業が受けられ目標を達成した。</li> <li>英語指導助手による全生徒への英語教育の取り組みにより、児童の積極的にコミュニケーションを図る能力の育成が図られ、オーストラリアの児童とインターネットを活用した交流授業において積極的な体験学習を行っている。</li> </ul>						

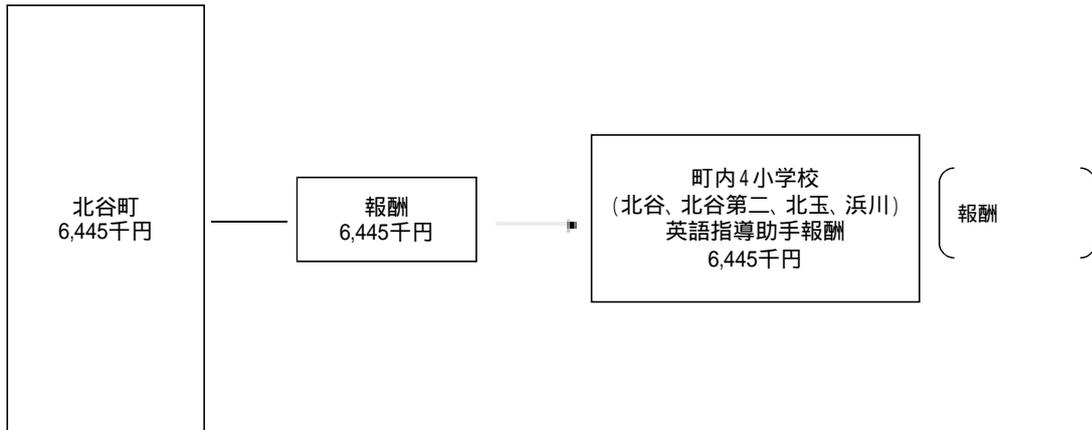
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童英語検定の総合平均正答率が、平成24年度は84.1%であったが、平成25年度には83.5%で0.6%減少した。	英語検定の正答率を向上させるため、英語指導助手と英語担当教諭の連携の時間を確保し、より実践的かつ効率的な指導方法を検討する。

**今後の取り組み方針**

より実践的かつ効率的な指導方法を検証するため、指導助手と担当教諭の連携の時間を確保し、多くの児童が英語への興味関心を高め、英語を使う楽しさを実感できるような指導計画作りに取り組む。  
 また、事業の効果の検証方法について、児童英語検定の総合平均正答率のみに絞らず、会話や語句の平均正答率からも検証していく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,445	6,445	5,156	1,289	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○小学校英語指導助手(AET)の任用、報酬、服務及び勤務条件等に関する要綱に基づき、英語指導助手派遣事業の業務に適すると認められる者を委嘱しており、支出先の選定は妥当であり、費目・使途についても適正である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	英語指導助手派遣事業(中学校)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 - 3 - (1)	
事業内容	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。英語によるコミュニケーション能力の育成と言語や文化に対する理解を深めること等を目標として、学級担任と英語指導助手とのチームティーチングによる授業を行う。英語スピーチコンテスト等において、生徒への指導補助を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,504	6,562			
		(b)予算現額	6,504	6,562			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	6,504	6,562			
	B.執行済額	6,324	6,282				
	うち交付金充当額	3,320	5,025				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	97.2%	95.7%				
予算の状況の説明	英語指導助手の報酬支払については日額による算定となっているため、勤務実績により多少の不用額が出たが、当初計画通りに事業を執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中学校英語指導助手(AET)配置数2人: 全中学校に各1人	目標	( 全中学校に各1人:2人 )	( 全中学校に各1人:2人 )	( )	( )	
		実績	全中学校に各1人:2人	全中学校に各1人:2人			
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
達成状況説明	外国人を英語指導助手として委嘱し、年間215日、1日7時間45分、全2中学校へ派遣した。各中学校における英語の授業において、チームティーチングを行った。夏季休業期間中に中学校英語スピーチコンテストにおける指導を行った。本派遣事業の実施により、生徒による英語を使った積極的なコミュニケーション意欲の向上が見られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	支援生徒数: 全中学校合計 1,047人	目標	( 1,091人 )	( 1,094人 )	( 1,047人 )	( )	( )
		実績		1,094人	1,062人		
	[参考指標]		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	・支援生徒数は全中学校の全生徒となっており、全校生徒が英語指導助手による授業が受けられ目標を達成した。 ・今後も引き続き英語指導助手による全生徒への英語教育の実施により、積極的なコミュニケーション意欲の向上を図り、英語を聞く・話す・書くことを中心とした活動や、授業において互いの発表を聞くことを生徒に習慣づけさせる。						

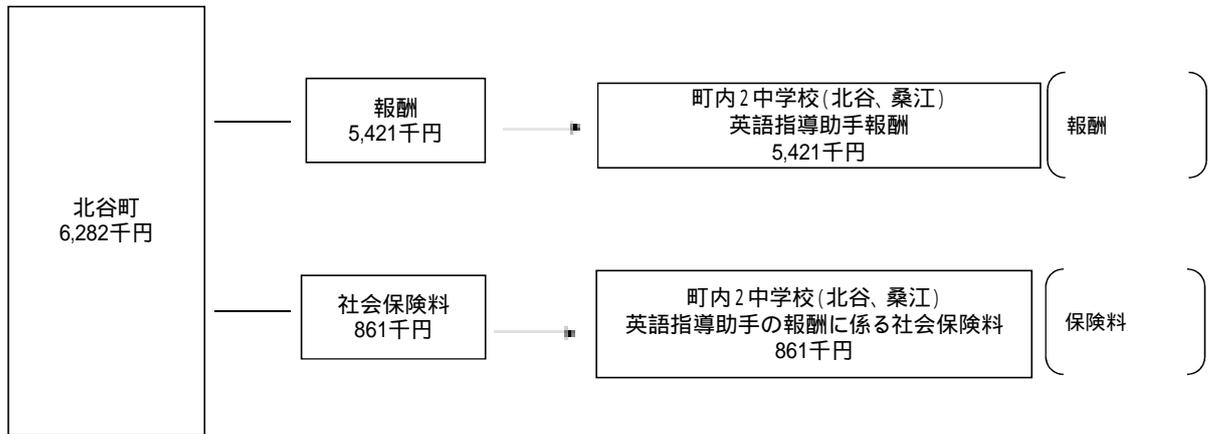
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>学力到達度調査の結果、聞くことに関する無答率は1%未満であり、聞くことに対する生徒の抵抗感は少ないように思われるが、書くことに関しては、書くこととする意欲は高まっているが、今後も継続した指導が必要である。</p>	<p>英語指導助手とのチームティーチング授業により、「聞く」技能に関しては成果を上げてきており、「書く」技能に関しても、英語指導助手と英語担当教諭で連携の時間を確保し、指導案の作成を工夫する。</p>

**今後の取り組み方針**

・中学校の各学年の単語・文・文章のそれぞれのレベルでの課題を工夫し、正確に書くことができるような指導案作成について、英語指導助手と英語担当教諭の連携を図る。  
 ・成果を上げてきている「聞く」技能に加えて「話す」技能も深めるために、交流の場面で体験的な活動ができるよう、国外の交流団生徒の受け入れの際の交流授業計画等を英語指導助手に支援してもらう。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,282	6,282	5,025	1,257	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	○中学校英語指導助手(AET)の任用、報酬、服務及び勤務条件等に関する要綱に基づき、英語指導助手派遣事業の業務に適すると認められる者を委嘱しており、支出先の選定は妥当であり、費目・使途についても適正である。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 北谷町ハワイ短期留学派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - ア		
担当部課名	教育委員会社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイに町人会との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナーンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ( )		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
		(b)予算現額	4,656				
		(c)増減額(b-a)	344				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	4,656				
	B.執行済額	4,656					
	うち交付金充当額	3,724					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初計画時においては、自己負担が免除(全額公費負担)となる要保護世帯の生徒の参加を見込んでいたが、実際には要保護世帯生徒の希望者がなく公費支出分が減となったため予算の減額を行ったが、当初予定していた事業について予定通り実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	派遣生徒数(累計):12名	目標	(派遣性12名)	( )	( )	( )	
		実績	派遣性12名				
	派遣引率者数(累計):2名	目標	(引率者2名)	( )	( )	( )	
		実績	引率者1名				
達成状況説明	・派遣生12名に対し、25名の募集があった。作文・日本語・英語面接の選考試験を実施した。 ・町内学校の英語教師に対し引率者の募集を行ったが、希望者が1名だったため実績が目標を下回ったが、代替分については、旅行代理店に委託した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	ハワイ短期留学派遣生徒数:12名 ハワイ短期留学派遣事業事後報告会の開催及び報告書の作成	目標	( )	(派遣生12名報告会の開催)報告書の作成	( )	( )	( )
		実績		派遣生12名報告会の開催報告書の作成			
	[参考指標]	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績						
進捗状況説明	・初年度事業であったが、派遣生12名の確保、保護者、教育委員会関係者等を招いての事後報告会の開催、短期留学派遣事業報告書の発行等、当初の目標を達成した。ハワイでの語学学習や県人会、町人会との交流会を実施することにより参加生徒の国際的な視野の醸成が図られたと考える。今後も本事業のPR等に努め本派遣事業への参加者の募集及び保護者等の意識向上を図る。						

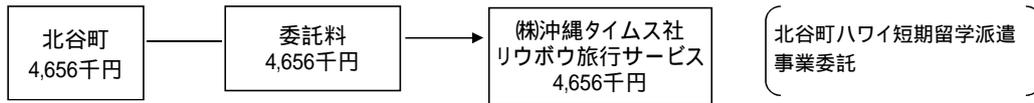
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハワイでの北谷嘉手納町人会との交流会を実施するにあたり、場所の確保や送迎等の問題が発生した。</li> <li>・海外への派遣ということで、円安の影響での費用の高騰や社会情勢の変化による事業の中止等が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会の日程・場所を早い段階で決定し、交流会会場に送迎できるホストファミリーを募ることが必要である。</li> <li>・決められた予算内で派遣者数を決定していく。</li> <li>・社会情勢が悪化した場合は子ども達の安全を考慮し事業の中止も検討していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

現地での送迎方法等移動手手段の早期確保を心掛け、為替等の動向を注視し適正な予算執行を心がける。  
 初年度の事業を終えて、子ども達の安全面の確認ができたことから、平成26年度は派遣者数を3名増やし15名を派遣したい。  
 また、本派遣事業への参加者を蓄積していくことにより、町民と海外で活躍するウチナンチュとのネットワークを広げていく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,656	4,656	3,724	932	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、中・高校生を海外に派遣するという点で、安全・安心を最優先し、これまでの実績と町独自のプログラムの調整を行う企業を勘案した上で選定し、契約締結にあたっては、地方自治法施行令167条の2第1項第2号に基づき随意契約締結されており、妥当であったと考えている。 ○受益者である派遣生徒については、1人あたり10万円の自己負担となっており負担関係も妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 -	日本語指導学習支援員派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - ア
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	- 3 - (1)

事業内容  
日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。日本語の基礎的な読み書き及び会話の指導や、日本語能力が不十分なため授業において問題文を読む力が不足している場合等への学習理解及び生活習慣の習得のために、通級教室により個別指導を行う。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ( )
------	------	----	----	----	---------

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	3,070				
	(b)予算現額	3,070				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	3,070				
	B.執行済額	2,727				
	うち交付金充当額	2,181				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	88.8%				
予算の状況の説明	日本語学習支援員の報酬月額について、当初計画額より減としたため執行額が減となったが、当初計画していた事業内容を全て実施し、予算を適正に執行した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
日本語指導学習支援員配置数: 1人	目標	日本語指導学習支援員配置数: 1人	( )	( )	( )
	実績	日本語指導学習支援員配置数: 1人			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	日本語指導学習支援業務嘱託員を委嘱し、対象児童の実態に配慮し、2小学校へ日本語指導教室を設置し、2小学校において1週間あたり2日と3日に分けて指導を行った。嘱託員の勤務時間は1日6時間であり、そのうちの日本語教室入級児童1人あたり1時間～3時間の個に応じた指導が図られたことにより、日本語の語彙が増え、ひらがなが書けるようになったり、日本語での会話も上達が見られる。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		目標	( )	(支援生徒数 12人)	( )	( )
	実績		支援生徒数 13人			
	[参考指標]	目標	( )	( )	( )	( )
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の成果目標の支援生徒数12人から1人増え、13人全員が日本語指導学習支援嘱託員による授業が受けられ目標を達成した。</li> <li>日本語教室入級児童のクラス担任から、対象児童についての細やかな指導の連携が図られており、児童一人ひとりの個に応じた日本語指導が行える体制が整えられている。</li> <li>入級後の児童は、日本語の語彙が増え、ひらがなが書けるようになったり、日本語での会話も上達しており、今後の学力向上及び新たな外国籍児童生徒等の受け入れ態勢強化が期待できる。</li> </ul>					

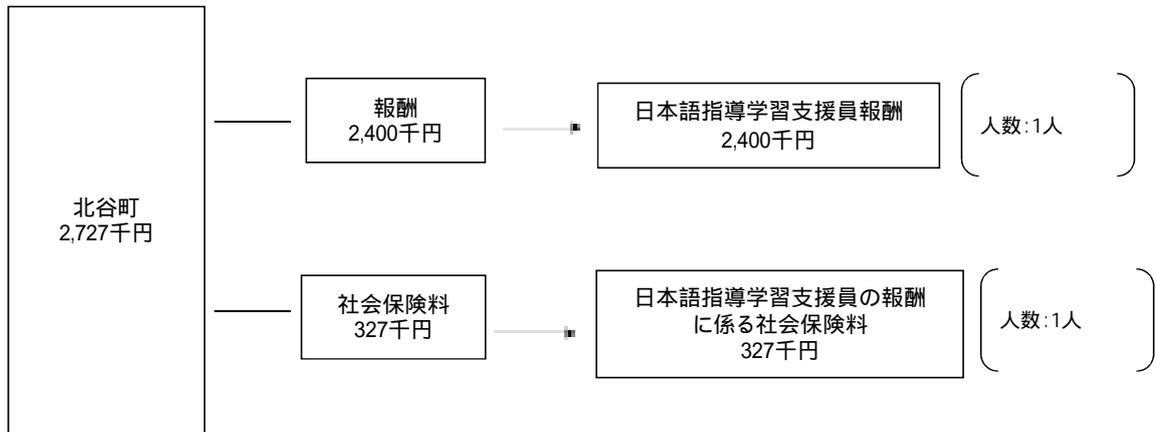
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	児童一人ひとりの日本語能力に応じた日本語指導を進めたなかで、高学年については、中学校進学も視野にいれた指導をしていく必要がある。	日本語能力のレベル向上のために、教材の工夫と開発を行い、指導の時間を増やす等の対策を取る。

**今後の取り組み方針**

日本語指導学習支援員を研修会等へ参加させ、教材の工夫と開発を行っていく。中学校へ進学しても、児童が不安なく学校生活を送り、学習活動に参加できる能力が身に付くよう、児童一人ひとりの日本語能力に応じたきめ細やかな指導を行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,727	2,727	2,181	546	



資金の流 れ、費 目 の 検 査 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	○日本語指導学習支援業務嘱託員設置要綱に基づき、日本語指導学習支援の業務に適すると認められる者を委嘱しており、支出先の選定は妥当であり、費目・用途についても適正である。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		北谷町										
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	3 - 跡地利用推進事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (5) - 1							
	担当部課名	総務部 企画財政課		事業実施(予定)年度	平成24年度～平成28年度	沖繩振興基本方針該当箇所	戦後処理問題の解決					
事業内容		「キャンプ桑江南側地区」の有効かつ適切な跡地利用計画の策定及び円滑な町有地取得を図るため、外国大学設置調査の実施や外国大学誘致検討委員会の開催、地権者意向調査を実施する。また、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」の有効な跡地利用計画の策定に向けた基礎調査を実施する。さらに、啓発活動として地権者説明会や跡地利用に関する情報発信を実施する。										
	実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		予算の状況	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	(a)当初予算額		8,159		24,150							
	(b)予算現額	12,210		22,963								
	(c)増減額(b-a)	4,051		1,187								
	(d)繰越額	-		0								
	A.計(b+d)	12,210		22,963								
	B.執行済額	10,052		18,264								
	うち交付金充当額	7,260		14,611								
	次年度繰越額	0		0								
	執行率(%) (B/A)	82.3%		79.5%								
予算の状況の説明		日米両政府による嘉手納以南の土地返還計画の発表に伴う本町事業内容の見直しにより、予算の減額補正を行った。不用額については、主に競争入札の執行によるものであり、予算を適正に執行することができた。										
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況									
			24年度		25年度		26年度		27年度			
	「キャンプ桑江南側地区」における外国大学誘致検討委員会の開催、外国大学設置調査の実施	目標	( 外国大学誘致基本構想(案)の策定 )		( 検討委員会の開催調査業務の実施 )		( )		( )			
		実績	外国大学誘致基本構想(案)の策定		検討委員会の開催調査業務の実施							
	「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎調査の実施	目標	( )		( 跡地利用基礎調査の実施 )		( )		( )			
		実績			跡地利用基礎調査の実施							
	米軍基地地権者との合意形成活動の実施(地権者説明会の開催、ニュース発送及びホームページ更新による情報発信、地権者意向調査等)	目標	( )		( 合意形成活動の実施 )		( )		( )			
		実績			合意形成活動の実施							
	達成状況説明		「キャンプ桑江南側地区」において、外国大学設置調査及び外国大学誘致検討委員会を開催し、外国大学設置効果の整理及び誘致検討を行った。また、地権者意向調査により、跡地利用に関する地権者意向を把握した。「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」においては跡地利用基礎調査を実施し、跡地利用の基礎的条件を整理した。さらに、地権者説明会やニュース送付等の情報発信を行い、跡地利用に関する周知を図ることにより、跡地利用に向けた機運醸成が図れた。									
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)		24年度		25年度		26年度		目標値(年度)
「キャンプ桑江南側地区」の外国大学設置に係る効果予測及び跡地利用の考察		目標	( )		( 外国大学誘致基本構想(案)の策定 )		( 外国大学効果予測 )		( )		( )	
		実績			外国大学誘致基本構想(案)の策定		外国大学効果予測					
「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」における跡地利用基礎的条件の整理		目標	( )		( )		( 跡地利用基礎条件整理 )		( )		( )	
		実績					跡地利用基礎条件整理					
跡地利用に対する地権者等の理解促進、地権者意向の把握		目標	( )		( )		( 地権者説明会の実施 )		( )		( )	
		実績					地権者説明会の実施					
進捗状況説明		有効な跡地利用計画の策定に向けて、「キャンプ桑江南側地区」において外国大学設置に係る効果予測及び跡地利用の考察、地権者意向の把握を行った。また、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)及び「陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム」において跡地利用に関する基礎的条件を整理した。また、地権者説明会等の情報発信を実施し、跡地利用に向けた機運醸成を図った。今後も引き続き魅力あるまちづくりを推進するため、地権者等の跡地利用に関する理解促進を図る取り組みを実施する。										

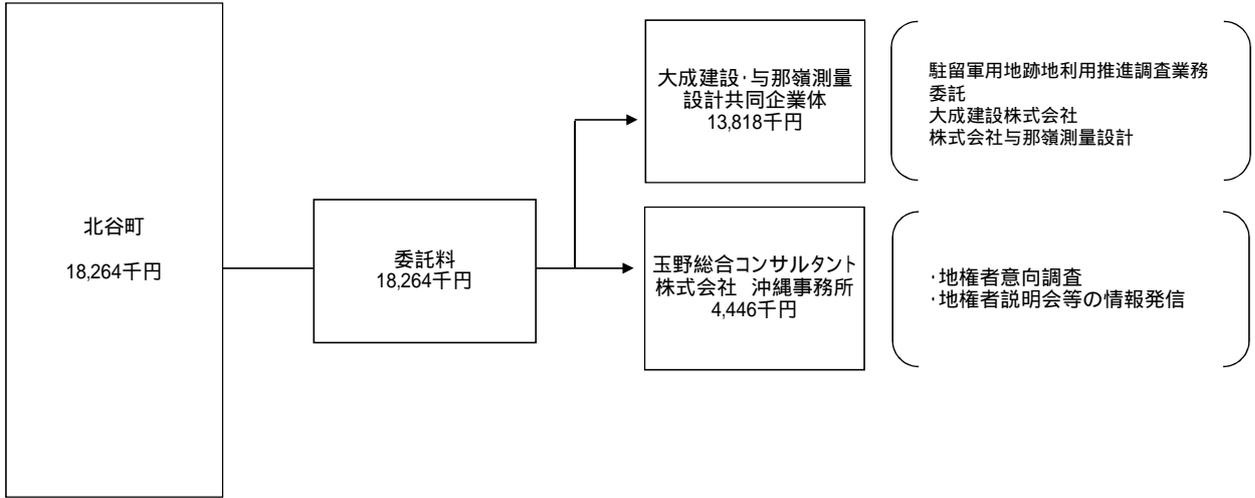
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄本島中南部で大規模な基地返還が予定されているため、他地域との都市機能の競争を回避し、魅力あるまちづくりを行うために、地区特性に応じた特色のある産業・都市機能の導入が求められている。</li> <li>・適切な跡地利用計画策定や基盤整備事業の円滑化を図るためには、自然環境や文化財分布といった地域特性の詳細を把握しておく必要がある。</li> <li>・基地返還後、迅速・円滑に基盤整備事業に着手するためには、早い段階で地権者の合意に基づいた跡地利用計画を策定しておく必要がある。</li> <li>・キャンパス江南側への外国大学誘致には、制度面・財政面等の課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区特性に応じた産業・都市機能の導入に向けた検討・調査を実施する。</li> <li>・基地返還前における自然環境調査や文化財調査の実施が望まれる。</li> <li>・地権者と情報共有を図りながら、協働で跡地利用に取り組む。</li> <li>・外国大学誘致の実現に向けて、関係機関等の連携協力の下で推進していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・魅力あるまちづくりを行うための調査・検討や、関係機関等への働きかけ等を継続的に実施していく。
- ・米軍基地内における自然環境調査や文化財調査の実施に向けて、関係機関と調整しながら取り組んでいく。
- ・地権者の跡地利用に関する意識高揚や理解促進を図るために、説明会や講演会などの合意形成活動を実施しながら跡地利用の取組を進めていく。
- ・外国大学の誘致を実現するために、国や沖縄県、米国、経済界、住民、地権者等との協力体制の構築に取り組んでいく。
- ・基地跡地の有効活用に向けた制度的・財政的課題等について、関係機関等に対して所要の措置を要請していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
18,264	18,264	14,611	3,653	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、公募型プロポーザル方式及び指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	防災拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務部企画財政課	事業実施（予定）年度	平成25年度～平成28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 -10	
事業内容	県内有数の観光地である美浜西海岸地域を訪問する観光客や住民など、滞留者の避難・帰宅支援施設として有効な機能を有する防災拠点を整備する。今年度は、アクセス道路並びに構内配置計画を策定するため、基本計画策定業務を実施するとともに、防災広場にあたる用地の取得を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	163,915				
		(b)予算現額	158,145				
		(c)増減額(b-a)	5,770				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		158,145				
	B.執行済額		157,993				
	うち交付金充当額		126,394				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		当初計画していた防災広場の面積が計画変更により減となったこと、及び基本計画策定委託業務に係る入札執行により予算現額を減とした。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	土地取得 面積6,255㎡	目標	( 6,255㎡ )	( )	( )	( )	
		実績	6,000㎡				
	防災拠点アクセス道路概略設計	目標	( 防災拠点アクセス道路概略設計 )	( )	( )	( )	
		実績	防災拠点整備基本計画策定				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点へのアクセス道路計画及び主要機能の配置計画を策定し、防災拠点整備基本計画として取りまとめた。</li> <li>・配置計画の策定により、一括交付金を活用して取得予定だった防災広場の面積が減となったことから、土地取得については当初目的を下回った。</li> </ul>						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	土地取得率 100% 防災拠点アクセス道路概略設計の実施	目標	( )	( 取得率100%道路概略設計 )	( )	( )	( )
		実績		( 取得率100%整備基本計画の策定 )			
	[参考指標]		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点に必要な用地を確保することができた。</li> <li>・今後は、避難場所としての機能を有した広場の面整備等を他機能設計業務と併行しながら実施していく。</li> </ul>					

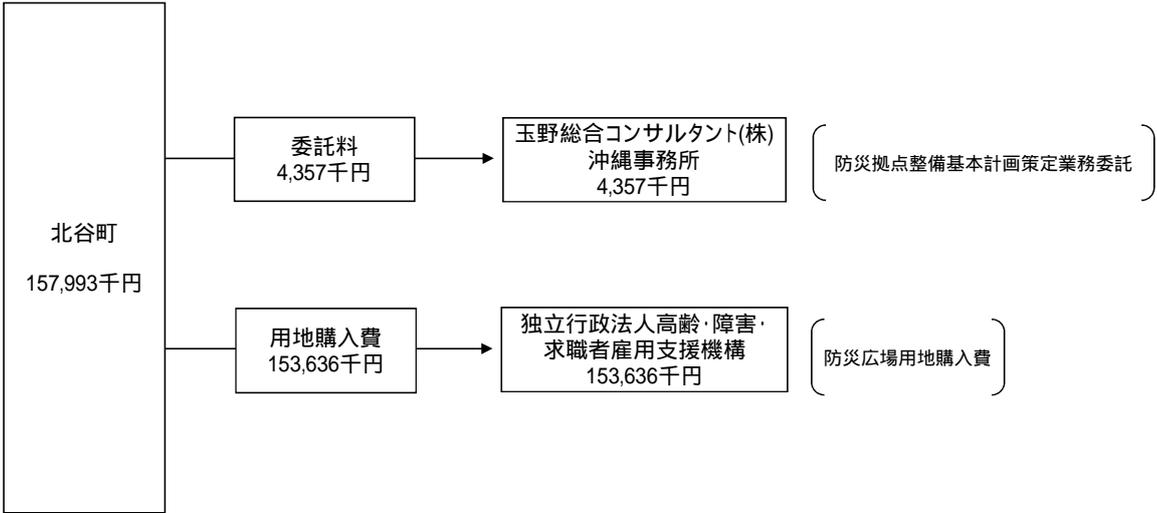
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・北谷町地域防災計画で掲げられた防災機能をより一層効果的に発揮させるために、関係機関や周辺施設等と調整を図りながら整備を進めていく必要がある。	・各施設整備の所管部署と関係機関、周辺施設等の密接な連携の下で事業を推進する。

**今後の取り組み方針**

・今後は、関係部署と連携の上、構内道路の概略設計、消防施設建設場所の確保、給食センターの建設等、総合的な防災拠点の整備を推進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
157,993	157,993	126,394	31,599	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託料については、指名競争入札により契約締結され、適切に執行されている。 用地購入については、平成24年度に実施した不動産鑑定士による鑑定結果に基づき算定した用地購入費の支出となっている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町
------	-----

**平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	4 -	航空機騒音測定装置の更新及び新設事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (5) - ア
担当部課名	総務部 町長室	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				米軍基地から派生する諸問題への対応
				- 10

**事業内容**  
 米軍基地から派生する航空機騒音の測定を実施することにより、住民生活における騒音被害の実情を把握し、日本政府及び米軍基地へ対応を求める。既存の機器2基(砂辺局、桑江局)の更新及び、新規に1基(北玉局)の設置を行う。

**実施方法**  
 直接実施      委託      補助      負担      その他 (      )

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	16,578				
	(b)予算現額	16,578				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	16,578				
	B.執行済額	15,855				
	うち交付金充当額	12,684				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	95.6%				
予算の状況の説明	予算を適正に執行し、騒音測定器を2基更新、1基を新設することができた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
		25年度	26年度	27年度	28年度	
	新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置	目標	( 3か所 )	(            )	(            )	(            )
		実績	3か所			
	達成状況説明	目標	(            )	(            )	(            )	(            )
		実績				

新基準に対応する騒音測定器3基を設置し、より正確かつ広範囲の騒音被害を把握できるようになった。(設置場所:砂辺局、桑江局、北玉局)

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		新基準(Lden)に対応する騒音測定器の設置	目標	(            )	( 3か所 )	(            )	(            )
	実績			3か所			
	[参考指標]	目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )
実績							
進捗状況説明	既設の2か所の騒音測定器については新基準に対応した機器への更新を図り、またこれまで測定していなかった本町東部地域に新たに測定局を設けることで、より広範囲における騒音被害の実情を把握することができるようになったため、米軍基地から発生する騒音被害等への対応を米軍及び日本政府に求める際により正確かつ広範囲なデータ提供を行うことができるようになった。						

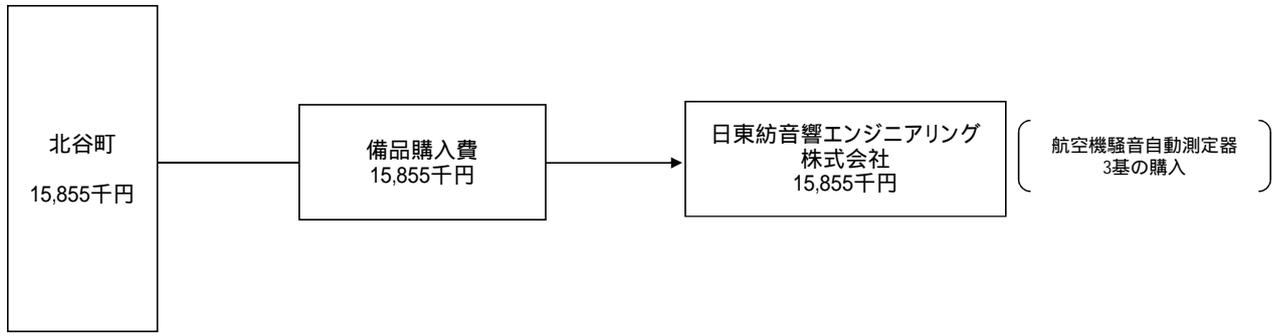
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の3か所で本町の被害状況が十分把握できるかの検証が必要。</li> <li>測定した結果を十分に分析し、本町の被害状況の公表及び日本政府、米軍への要請等、具体的な活用方法の整備を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定場所について現状の場所で十分かどうか、実際の航空機の飛行経路の調査及び住民ニーズに即しているか検証する。</li> <li>測定データの分析及び活用の方法の検証及び、被害状況の公表等を行う公告媒体(広報誌等が妥当か)等の検討を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

継続的に騒音測定を実施し、データの分析により騒音被害の実態を把握する。  
 関係機関等と連携し、航空機騒音の軽減を国及び米軍等へ要請する。  
 騒音測定データの公表について検討する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,855	15,855	12,684	3,171	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	町内のより広範囲における騒音実態を把握するため、沖縄県において設置している町内2局の測定局とのデータ連携が可能な機種を提供できる業者を選定するにあたり、該当する業者が1社のみであったため、随意契約を行った。予算規模及び費目・用途は事業の内容及び目的に見合っており適正と評価する。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	北谷町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 -	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (13) - ア	
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年度～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組	
事業内容	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、特定駐留軍用地内の土地を取得し、公有地拡大を図るための基金積立を行う。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 (      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	<b>予算の状況</b>	(a)当初予算額	253,000				
		(b)予算現額	551,000				
		(c)増減額(b-a)	298,000				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	551,000				
	<b>執行額</b>	B.執行済額	551,000				
		うち交付金充当額	440,690				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	特定駐留軍用地内の用地取得にあたっては、返還後の早期事業着手及び計画定期な開発・整備を実施するため、返還前のできるだけ早い段階から公有地の拡大が必要であることから事業費の大幅な増額申請を行った。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	特定駐留軍用地内土地取得事業基金の積立	目標	( 積立実施 )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績	積立実施				
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
		実績					
達成状況説明	特定駐留軍用地内の土地を取得するため、特定駐留軍用地内土地取得事業基金を設置し、551,000千円を積み立てた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	特定駐留軍用地内土地取得事業基金に551,000千円積み立てる。	目標	(                    )	( 駐留軍用地内土地取得事業基金の積立551,000千円 )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績		駐留軍用地内土地取得事業基金の積立551,000千円			
	[参考指標]	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
	進捗状況説明	平成25年度は基金を設置し積立を行った。平成26年度以降、計画的に積み増しながら地権者の土地売却意向に応じて土地を取得していく。					

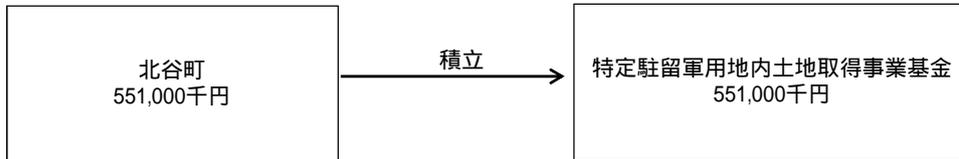
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	長期間にわたり安定的に用地取得を行うために、十分な基金積立額を確保しつつ、地権者の土地売却意欲を促進・喚起する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定的に用地を取得できるよう、できるだけ早期に基金を積み増しを行っていく。</li> <li>土地取得事業の概要、特徴などについて、地権者への周知徹底を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

平成26年度以降、なるべく早期に必要な額の基金積み増しを行いながら地権者の土地売却意向に応じて土地を取得していく。あわせて、地権者の土地売却意欲の促進・喚起を図るため、周知・広報に取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
551,000	551,000	440,690	110,310	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		